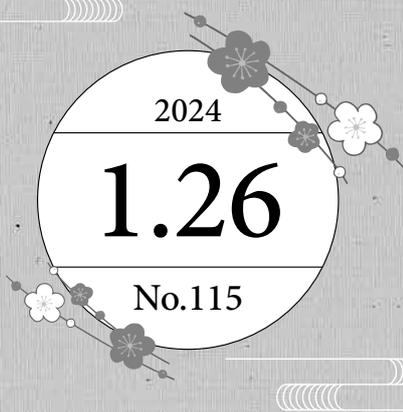




介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News



CONTENTS

新年のご挨拶 2

特集

ミクロな視点から介護福祉経営を展望する
「地域別将来推計人口」に見る2050年の日本 3

●今月の「介護ビジョン」 4

●推薦図書のご案内 5

●第8回「介護福祉のみらい」
作文コンクール
入選作品掲載 6

●イベント紹介
●介護福祉経営士
WEB説明会のご案内 8

[特集]

ミクロな視点から介護福祉経営を展望する 「地域別将来推計人口」に見る2050年の日本



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会



お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3553-2896
<http://www.nkfk.jp>
〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号
S-GATE八丁堀9階
制作：株式会社日本医療企画

新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

このたびの石川県能登地方を震源とする令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表します。皆様の安全と、被災地の一日も早い復興を心よりお祈りしております。

本会では、介護福祉経営士の資格取得の機会を拡大するため、昨年4月より自宅や職場で受験できる自宅受験(リモート方式)を開始しました。「介護福祉経営士」の受験者数は2級・1級累計3,781人(合格者数・累計2,232人)を超えることとなり、これもひとえに会員の皆様、関係各所の皆様のご支援とご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。

当会設立から11年目を迎える本年は、介護報酬・障害福祉サービス報酬・診療報酬の同時改定が控えています。

また今後は、生産年齢人口が減少していき、より少ない人材で介護を必要とする人に必要なケアを提供していくことが求められます。その一方、高齢者の就業者は2024年以降、増加を続け、2021年には909万人と過去最多となりました。

高齢社会の進展は介護のニーズだけではなく、高年齢の就業人口が増加する時代とも捉えることができます。

こうした社会の変化に対応しながら、介護福祉経営士には、安定した介護福祉事業経営を実現し、より良質な介護福祉サービスを提供する使命と役割があります。

多様な人材の育成と多様な働き方を整備し、ケアの質を担保していくことが今後ますます求められ、ICTを活用した事務作業等の効率化、医療や地域との連携も進めていかななくてはなりません。

介護福祉経営士が担う職務は、介護事業の最適化から地域のイノベーションまで幅広く、日々研鑽を積んでいくことが重要です。より一層学びを深め、時代を読む力を養い、竜のように勢い盛んに大きく成長する年となることを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会
代表理事 多田 宏



「地域別将来推計人口」に見る2050年の日本

昨年末の12月22日、国立社会保障・人口問題研究所は「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」を公表した。本統計は5年ごとに公表されるもので、官民を問わず多くの分野において、さまざまな施策の立案、施行のための基礎データの1つとなる。今回公表されたデータは、令和2(2020)年の国勢調査を基に令和32(2050)年までの5年ごと30年間について、男女・5歳階級別に推計したものである。推計結果を抜粋しながら、超少子高齢社会の日本の姿を見ていこう。

2050年の都道府県別の推計人口

日本の総人口は長期にわたり減少が続いているが、令和2(2020)年の126,146千人以降、東京を除く46道府県の総人口は一貫して減少し、令和22(2040)年以降は東京も含め、すべての都道府県で減少し、令和32(2050)年には104,686千人と30年間で2割近く減少する。

令和2(2020)年を100とした場合、令和32(2050)年の指数が100を超えるのは東京都(102.5)のみであり、残る46道府県の人口は減少を示す100を下回る。なかでも、秋田県の指数は58.4と総人口が4割以上減少する。次いで青森県(61.0)、岩手県(64.7)、高知県(65.2)、長崎県(66.2)、山形県(66.6)、徳島県(66.8)、福島県(68.0)、和歌山県(68.5)、山口県(69.0)、新潟県(69.3)の11県の総人口が3割以上の減少となる。

次に全国の総人口に占める都道府県の総人口の割合を見てみる。令和2(2020)年の都道府県の総人口の割合が最も大きいのは東京都(11.1%)、次いで神奈川県(7.3%)、大阪府(7.0%)の順である。総人口が減少傾向にあるなか、大都市圏への集中は今後も続き、令和32(2050)年には東京都(13.8%)、神奈川県(8.1%)、大阪府(6.9%)、近隣の埼玉県(6.3%)、千葉県(5.4%)、愛知県(6.4%)、その他、滋賀県(1.2%)、福岡県(4.3%)、沖縄県(1.3%)も総人口に占める割合が上昇する。

2040年には3人に1人が高齢者

次に高齢者人口に着目してみる。

65歳以上人口は令和2(2020)年の36,027千人から令和25(2043)年のピークまで増加し、その後は減少に転じて令和32(2050)年には38,878千人となる。前述と同様に令和2(2020)年の65歳以上人口の値を100とした場合、令和32(2050)年に100未満になるのは26道県である。一方、100を超える21都府県のうち、沖縄県(141.1)と東京都(133.3)は130を超え、神奈川県(126.3)、愛知県(120.8)、滋賀県(120.8)は120を超える。

総人口に占める65歳以上人口の割合(=高齢化率)は今後、各都道府県とも一貫して上昇する。30%を超える都道府県は、令和2(2020)年で30道県、令和12(2030)年には38道府県、令和22(2040)年までには東京都を除く46

道府県になる。また、40%を超える都道府県は令和2(2020)年時点ではゼロであるが、令和32(2050)年には25道県に増える。最も高いのは秋田県(49.9%)であり、最も低いのは東京都(29.6%)である。

2030年まで増加し続ける後期高齢者人口

全国の75歳以上人口はすべての都道府県で令和12(2030)年まで増加する。一旦、減少傾向に入るのは、令和12(2030)年から令和17(2035)年にかけて31都道府県、令和17(2035)年から令和22(2040)年にかけては40道府県、令和22(2040)年から令和27(2045)年にかけて27道県、令和27(2045)年から令和32(2050)年は8県で、残る39都道府県では同期間に75歳以上人口は増加する。特に大都市圏の増加幅が著しい。前述同様、令和2(2020)年の値を100とした場合、令和32(2050)年に高い値を示すのは、沖縄県(179.3)は1.8倍、神奈川県(152.9)、滋賀県(150.2)と1.5倍に増加する。

また、総人口に占める75歳以上人口の割合が20%を超える都道府県は令和2(2020)年時点ではゼロであるが、令和32(2050)年には東京都を除く46道府県が20%を超える。

2050年には約3割の市町村が5,000人未満

都道府県の推計人口をおおまかに見てきたが、介護福祉経営の視点としては市区町村レベルで捉える必要がある。

先に示した通り、令和32(2050)年の全国の総人口は、令和2(2020)年を100としたときに83.0と大きく減少するが、100以上に増加する市区町村数がわずかではあるが77(1,728市区町村中4.5%)ある。残る1,651市区町村(95.5%)は100未満と減少する。なかでも半数未満に激減する50未満を示す市区町村数が341(19.7%)にも及ぶ。つまり、約2割の市区町村の総人口が30年間で半数未満となるのである。

次に総人口の規模別に市区町村数の変化をみると、令和2(2020)年から令和32(2050)年にかけて、5万人以上の市区町村数は523から411に減少し、5万人未満の市区町村数は1,205から1,317に増加する。なかでも5千人未満の市区町村数は283から482に増加し全市区町村に占める割合は、16.4%から27.9%へと3割に近い市町村が5千人

未満の自治体となるのである(図表1)。

財務省の「市町村の人口規模とサービス施設の立地確率」という資料を見ると、訪問介護事業が50%の確率で存在する人口規模は6,500人とされている。通所・短期入所介護事業は2,500人、介護老人保健施設は8,500人、有料老人ホームは17,500人、その他一般診療所は3,500人、病院は17,500人とされている。50%の確率であり、目安の人数でしかないが、人口減少は、日常生活に必要な小売店や医療・福祉などのサービス施設の立地にも直接影響するため、生活を維持できなくなる可能性が高くなる。

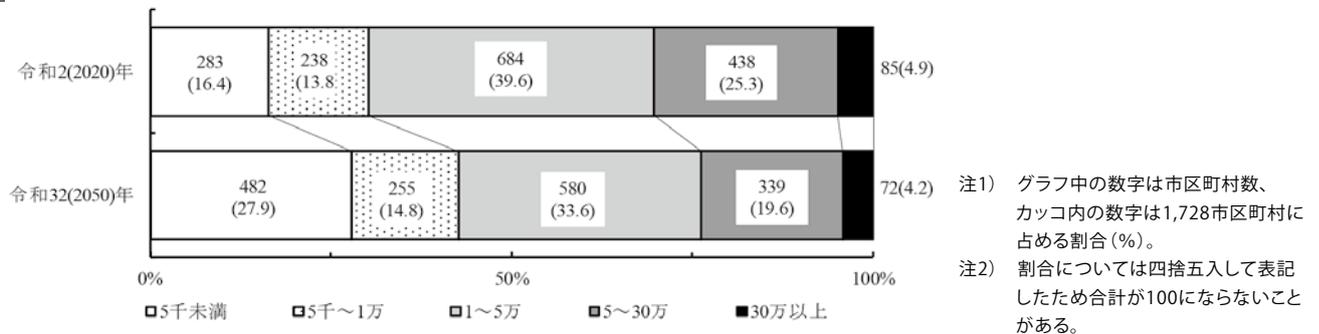
最後に総人口に占める65歳以上人口の割合(=高齢化率)を見てみよう。令和32(2050)年に最も高い都道府県は秋田県と示し、その割合は49.9%と前述したが、市区町村レベルで見ると、65歳以上人口割合が50%以上の市区

町村数が令和2(2020)年の59(1,728市区町村中3.4%)から令和32(2050)年には557(同32.2%)に激増する。つまり、2人に1人が高齢者の市町村が3割を超える状況となる。

ミクロな視点から介護福祉経営を展望しよう

超少子高齢化の問題に関して、生産年齢人口の減少と高齢化率の急増といった人口構成に目が向けられることが多い。しかし、ミクロな視点で見ると、多くの市区町村で人口減少のインパクトが顕著に表れることがわかる。自治体としての維持が困難になるほどの人口減少と高齢化率の急騰に対して、足元の自治体の将来を見据えることが重要となろう。今後の介護福祉経営を展望するためにも本調査報告にある詳細なデータを分析することが必要であろう。

図表1 令和2(2020)年と令和32(2050)年における総人口の規模別にみた市区町村数と割合



地域介護経営

Care Vision

地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

介護ビジョン

今月の

第1特集

2024年に飛躍する 「ES経営」

企業経営において、「ES(Employee Satisfaction, 従業員満足度)」が重要なキーワードになっている。ESを向上させる経営は従業員のモチベーションや生産性の向上、顧客満足度の向上、そして好業績につながる。

介護事業は「人こそすべて」。いわゆる「2025年問題」が目の前に迫るなか、スタッフが充実して働ける環境づくりに向けて、今こそ経営者はES向上に本腰を入れて取り組むことが求められている。

解説

利用者満足の追求はもちろん、「3者満足(三方良し)」の経営をめざせ
大坪信喜(福祉マネジメントラボ 代表)

事例1

従業員の働きがい向上をめざし
「社員意識調査」を刷新
株式会社ソラスト(東京都港区)

事例2

日々の仕事を通して働きがいを生み出せる
SDGsの意義に気づいてほしい
社会福祉法人奥湯村福祉会(山梨県甲府市)

事例3

多くの刺激を受け、視野を広げることで
仕事の面白さ・楽しさも増していく
社会福祉法人関寿会 特別養護老人ホームはちぶせの里
(兵庫県養父市)

事例4

“人間性重視”の公正な評価を行い
従業員の信頼感を高める
株式会社アール・ケア(岡山県玉野市)

第2特集

認知症と間違えるケースも 「高齢者うつ」の正体

2024年2月号
(2024年1月20日発売)



<http://www.jmp.co.jp/carevision/>

- 毎月20日発行
- 定価: 1,430円(税込)
- 定期購読料: 17,160円(税込)
- ※ 会員価格は13,728円(税込)

【購入に関するお問い合わせ】
株式会社日本医療企画 Tel: 03-3553-2891



好評
発売中

国民の介護白書 2023年度版

幸せな長寿社会を実現する「介護の教育」

誰もが介護と関わるのが想定される長寿時代、必要になってから介護の知識を得るのでは遅すぎるのではないのでしょうか。また、中高齢や高齢期になると介護について身近に感じるものが多くなるものの学ぶ機会は多くありません。

さらに現在では、ヤングケアラーが社会問題となっていますが、子ども本人に自覚がないままヤングケアラーとなっているケースもあり、支援が遅れる要因になることもあります。

世界トップクラスの高齢化大国において、国民一人ひとりの介護の知識レベルや理解力を向上させることは、介護の課題を解決していくための重要な取り組みであり、全世代で社会を支える意識を醸成することにもつながるものと考えます。

本書では、子どもの介護教育から、中高年になったら学びたい老年学・死生学等々まで、さまざまな介護教育の取り組み等を取り上げ、紹介していきます。このような動きが広がっていき、全世代型“介護教育”が推進され、年齢を重ねても介護が必要になっても幸せだと思える社会を実現することを目的に本書を発刊します。



- 編集：『地域介護経営 介護ビジョン』編集部
 - 企画・制作：ヘルスケア総合政策研究所
 - 発行：株式会社日本医療企画
 - 定価：4,400円（本体4,000円＋税10%）
- 会員価格3,520円（本体3,200円＋税10%）

目次

【特別インタビュー】

介護教育の行方

——介護のすそ野を広げる入門的研修と今後の展望

吉田昌司（厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室室長）

【序章】

介護教育の重要性

——「現在」「将来」の自分・家族、そして社会のために

第1部 学校における介護の教育

- 第1章 小・中学生が学ぶ介護
- 第2章 高等学校・専門学校等で学ぶ介護
- 第3章 介護福祉教育の本質と課題

第2部 社会における介護の教育

- 第1章 介護事業者による介護の教育
- 第2章 企業による介護の教育
- 第3章 地域による介護の情報発信

第3部 高齢期の介護と老年学

- 第1章 高齢期の幸福感とエイジズム
- 第2章 生と死を学ぶ場より
——かけがえのない「いのち」の意味を問う
- 第3章 「心の介護」の教育
——「仕事介護」と「家族介護」が支え合う未来へ



vol.2

第8回「介護福祉のみらい」作文コンクール 入選作品掲載

佳作

「その人らしく生きること」

つちや ゆいな
土屋 結菜さん

(兵庫県立日高高等学校 福祉科3年)

私は十五歳の時に福祉科へ入学し、福祉に関する勉強をしてきた。その当時の私は、「福祉」という言葉の意味の深さについて知らず、福祉＝高齢者・障害者の支援をするという特定の人たちを一括りにしてしまうような考えがあったと思う。しかし、福祉科の生徒として徐々に専門的な勉強を進めていく中で、私が興味を持ったのは認知症についてである。認知症という言葉は私が小学生の時から何度も聞いたことのある言葉だが、「同じ言葉を繰り返す」こと。症状はそれだけしか知らなかった。高校二年生になり、認知症についての理解を深める授業が増えていく中で、「認知症」にはさまざまな種類と症状があることを知った。そして認知症についても着々と勉強を進めていく段階で、私は特別養護老人ホームに数日間、実習に行かせていただける機会があった。

実習先の施設では入居されている多くの利用者の方に認知症があった。利用者の方の中には、話すことが大好きでご家族の話や生まれ育った地元の話等、笑顔で懐かしそうに私にたくさん思い出を話してくださいました。私が利用者の方とそのような話で盛り上がっている時、Aさんが「今日は帰る日やったかな」と私に聞いてこられた。私はAさんがショートステイの方だと思ったので、「事務所で聞いてきます」と言った。しかし、Aさんは認知症による症状でこのような言葉を何度も職員の方に尋ねているのだと知った。また、私が実習を行っている期間中、歩行車を押しながら同じ施設内を何周もしていたり、職員の方に預けたはずの鞆について「鞆どこへしまったんだろう、ないんじゃないかな」と何度も呟かれているAさんを頻繁に見るようになった。更に移動しようとしていた私を手招きして、「私の帰る日は今日やったかな。早く帰らんといいんのやが」というAさんの「帰りたい」という言葉を何度も聞くようになったので、私はAさんがなぜ帰りたいと思うのか気になった。すると家にはいるのが男性ばかりで女性の私が家事をしなければいけないという理由があった。でも私は、早く家に帰り

たいAさんがまだ帰れないことを知っているからこそ、Aさんに何と言葉がけをすれば良いのか分からず、この日を機にAさんが安心できる方法はないか考えようと思った。

ある日、昨日と同じ言葉を職員の方に呟かれているAさんを何度か見かけ、Aさんの言葉に対して職員の方が毎回違う言葉がけを行っていることに気づいた。そこで、私もいろいろな言葉がけを行ってAさんに合ったコミュニケーションを見つけようと思った。そして言い回しを変えてAさんに毎回違った言葉がけを行うと「そうか、おおきに」等と笑顔で言われることが多くなり、私は嬉しくなった。

世間の認識はいまだ「認知症になったら何も分からなくなる」と思っている人が多いと思う。しかし、認知症でも昨日まで通じなかった言葉が今日は通じる日だってある。だから、Aさんの「帰りたい」という言葉に対しても「まだ帰る日ではありません」と、Aさんの希望を否定するのではなく、認知症の方の心の声に気づき、気持ちを汲んで支援できるようにすれば、認知症の方は「自分の存在が認められている」「此处にいてもいいんだ」と思うきっかけになり、安心することに繋がると学んだ。認知症の方に関わらず、誰もがその人らしく生きることができるよう、相手のありのままを認めること。つまり、思いやりこそが福祉であり、福祉の心を持って接することが大切だと思う。また、それを実現するために、私たちはこれからも笑顔を忘れず、誰に対しても思いやりを持って生活していくべきだと思う。

受賞者コメント

このような賞をいただき、心から感謝申し上げます。引き続き、日本の福祉に貢献できるよう努力します。

土屋 結菜さん



一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う中学生、高校生が、介護や福祉の大切さを知り、未来に関する考えや思いを発表することを目的に、第8回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施しました。全国より応募総数638編の作品が寄せられ、黒澤貞夫審査委員長（日本生活支援学会会長／浦和大学名誉教授）のもと、厳正な審査を行いました。以下に入選作品を掲載いたします。

佳作

「知ると世界が広がる」

なかた あき
中田 彩姫さん

(兵庫県立日高高等学校 福祉科3年)

みなさんは「福祉」と聞くと何を思い浮かべますか。私は、人を幸せにすることを思い浮かべます。今はこう思いますが、二年前の私ならこのような答えは出ないと思います。

当時の私は「福祉」と聞くとまず真っ先に高齢者を思い浮かべていました。そこから介護へと変換され、最終的には「大変そう」というイメージにたどり着いていたのです。これではまるで「福祉は大変なもの」と言っているようで今では考えられません。そもそも福祉においては、高齢者も子どもも障害者もちろん私たちもみんなが主役であるべきだと思っています。そこを福祉は高齢者だけに限定してしまったこと、また介護に対してあまり良いイメージを持っていなかったのには原因があると思います。それは、当時の私には福祉というものは未知に近いものだったからです。つまり自分が知らないものだったからです。人は自分の知らないものの印象を持つ時、どうしても想像で持ってしまう。「多分こうだろう」「どうせこうだろう」と知りもしないものを自分の憶測や偏見で勝手に思い込んでしまうのです。私もその一部でした。当時は福祉についての知識が全然なく、ほとんどが想像の世界でした。ですが、福祉科に入学して今年で二年。福祉についての学習や施設実習を通し知識が増え、考え方も変わりました。

学校では福祉の歴史や仕組みを学び、実習では利用者の方とコミュニケーションをとったり、職員の方の仕事内容や仕事に向き合う姿勢を学び、私にとって新たな刺激がたくさんありました。その刺激が私を成長させてくれ、また福祉や介護の幅の広さを知ることができました。特に実習中では、利用者の方の情報を何も知らずに自分の思い込みで行動を起こしてしまうと利用者の方の命に危険が及ぶかもしれないし、利用者の方が困っている際、何に困っているのかを知らないことには解決策が見えません。つまり、何かアクションを起こすには知ることが大切だと考えるようになりました。相手を知ることでそこから見える幅も変わってくると思い

ます。なので、逆を言うと相手を知らない、知ろうとしないのに良い対応ができるはずがありません。知ろうと思えば思うほど自分自身の世界も広がるし、それが人の役に立つことだってあります。私はこの二年間で少なからずそう感じてきました。

そして、私は自分だけが知ることがゴールではないと思います。もし、私みたいに何も知らないまま福祉や介護についてあまり良いイメージを持っていない人がいるのであれば、もったいないと思うし、そうでない人ももっと福祉について知ってほしいと思います。それは、今後高齢化が進む中で知識が活きたり、町中で困っている人を見かけた時に手助けができたりするからかもしれません。でも、私が思う一番の理由は冒頭でも述べた「福祉においてはみんなが主役」だからです。みんなが主役、つまり自分も主役なわけで自分のためにも福祉を学ぶことは大切だと思います。例えば、自分の大切な人が介護が必要になった時、何も知らない人と何か少しでも知っている人だと、何も知らない人は少しでも知っている人より不安になると思います。それこそ私は、その何も知らない人の支えになりたいと思っています。これから先、私の存在がそのような人たちを助けられるのであれば嬉しいです。みんなで福祉を学べばみんなで思い合うことができ、みんなが輝くことができると思います。それこそが私が思う、「福祉」とは人を幸せにすることです。

受賞者コメント

今回、このような賞をいただけたことは大変光栄です。今後も日本の福祉の未来のために「誰かのために頑張れる人」であり続けたいです。

中田 彩姫さん



北海道支部

2024年度 介護報酬改定から学ぶ 新しい経営と人材教育

2024年度の介護報酬改定の内容を先取りしながら、この先、介護業界がどのような道を進んでいくのかを予測し、施設の経営方針を考えるセミナー。人材確保・育成・教育の在り方にも触れる。

- 日時: 2024年2月9日(金) 18:00~20:00
- 講師: 神内秀之介氏(ふくしのよろずや神内商店合同会社 代表)
- 会場: 株式会社日本医療企画 北海道支社 セミナールーム
(北海道札幌市中央区南1条西6-15-1 札幌あおばビル201)
- 受講料: 介護福祉経営士・医療経営士・栄養経営士 5,000円、一般 6,000円
- 協力: 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

※経営士は、コードの入力後、割引価格になります
※参加者には「国民の介護白書2023年度版」が配布されます。
※オンラインの配信は予定しておりません。

お申し込みはこちら▼

<https://peatix.com/event/3799336>

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 北海道支社
TEL: 011-223-5125



北信越支部

摂食嚥下×栄養 セミナー&試食会 in 富山

挨拶

田畑裕明氏(衆議院厚生労働委員長)

基調講演

『多職種連携でピンチをチャンスに！
医科歯科連携と栄養を考慮した摂食嚥下リハビリテーション』
野村祐介氏(医療法人社団尽誠会野村病院 理事長)

特別講演

『食嚥下障害と栄養管理』
松長由美子氏(医療法人社団新和会 富山西リハビリテーション病院 管理栄養士)

試食会

参加企業ブースで摂食嚥下(関連商品をご試食いただけます)

■日時: 2024年3月16日(土)
【講演】16:00~19:00 【試食会】19:00~19:30(会場参加者のみ)

- 開催方法: 会場およびオンライン
- 会場: 富山県民会館 401会議室(富山県富山市新総曲輪4番18号)
- 参加費: 無料
- 後援: 日本介護福祉経営人材教育協会 北信越支部

※申込締切: 2024年3月11日(月) 12:00まで

お申し込みはこちら▼

<https://collabseminar-toyama.peatix.com/>

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 北信越支社
TEL: 076-231-7791



日本医療企画

2024年度 診療報酬・介護報酬同時改定 ～医療機関・介護事業者双方の視点から見た今後の経営戦略～

講演1

2024年診療報酬改定の対応策と経営戦略

湯原淳平氏
(株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパンシニアマネジャー)

講演2

介護報酬改定を見据えた新複合型サービスと連携した
高齢者住宅のあり方

蓬田裕樹氏
(アクアビット・ファクトリー株式会社 代表取締役兼CEO)

- 日時: 2024年2月17日(土) 13:00~
- 開催方法: 会場およびオンライン
- 会場: TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口
(宮城県仙台市青葉区花京院1-2-15)
- 定員: 会場30名
- 参加費: 無料
- 共催: 東北ミサワホーム株式会社

お申し込みはこちら▼

https://www.jmp.co.jp/seminar/tohoku/sendaiseminar2024_0217/

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 東北支社
TEL: 022-281-8536



日本医療企画

福祉住宅セミナー2024 最新動向をふまえた介護・福祉事業経営戦略セミナー

講演

2024年介護報酬改定 重点ポイントを徹底解説
小濱道博氏(小濱介護経営事務所 代表)

事例紹介

高齢者施設・福祉施設の建築実例紹介
～長期安定経営の実例をご紹介～
パナソニック ホームズ株式会社

- 日時: 2024年3月18日(月)~3月24日(日) 時間120分程度
- 開催方法: オンデマンド配信
- 参加費: 無料
- 共催: パナソニック ホームズ株式会社

お申し込みはこちら▼

https://www.jmp.co.jp/seminar/kansai/panasonic_welfarehousing2024/

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 福祉住宅セミナー
TEL: 06-7660-1761



介護福祉経営士 WEB説明会のご案内

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会では、「介護福祉経営士」資格や認定試験に関するWEB上での説明会を行っています。これまで、当協会では介護福祉経営士の受験を検討する法人などを直接訪問し「出前説明会」を開催してきましたが、今後はWEBも活用しながら介護福祉経営士の普及に努めてまいります。

「介護福祉経営士」について、資格取得のメリットや勉強方法などさまざまな情報を距離・場所の制約なく入手していただける機会となりますので、ぜひご活用ください。

お申し込みは当協会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/demae.html>)より承っております。

